

令和 4 年度 短期研修実施計画及び研修内容 (案)

令和3年 6 月 2 8 日現在

研修講座	研修の必要性	主な内容	対象者	主な対象者		実施時期	研修 日数	定員	開催場所
				市町村	林業 事業者等				
1 森林・林業の基礎	地域の森林・林業の中心的役割を担う市町村林務担当職員を対象に、森林・林業に関する基礎的な知識を習得させ、担当業務を円滑に遂行できる職員を育成する。	森林・林業の基礎知識、優良林業事業者・木材市場等現地研修、森林・林業施策における市町村の役割 等	市町村林務担当職員 (初任者レベル)	○	○	令和4年4月26日～27日	2日	20名	林業研究センター
2 森林計画制度	森林・林業行政の推進を図るため、森林計画制度の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	森林計画制度、市町村森林整備計画の実行管理(森林経営計画、林地台帳、伐採届、森林土地所有者届)、森林境界明確化 等	市町村林務担当職員 (実務担当者)	○		令和4年5月23日～24日	2日	20名	林業研究センター
3 森林整備事業の実務	森林・林業行政の推進を図るため、森林整備の実務に必要な知識を習得させ、市町村の森林・林業施策を適切に計画・実行できる職員を育成する。	森林整備事業の概要、ふくしま森林再生事業・広葉樹林再生事業、森林経営管理制度の概要、森林GISの活用、森林調査の基本、周囲測量の基本、森林整備発注業務の実務	市町村林務担当職員 (実務担当者)	○		令和4年7月4日～6日	3日	20名	林業研究センター
4 路網整備と作業システム (基礎)	路網整備と作業システムに関する基礎的な知識及び技術の習得により、地域における効率的な施業方法を指導できる者を育成する。	路網整備の必要性、市町村森林整備計画と路網計画、路網設計・作設方法・施工管理、路網と作業システム、ICT技術 等	市町村林務担当職員(実務担当者)及び林業従事者	○	○	令和4年8月1日～2日	2日	20名	林業研究センター
5 森林土木事業の設計・施工管理 (前期)	森林土木事業の監督業務、積算業務等に必要知識を習得させ、森林土木事業の実務ができる者を育成する。	森林土木事業の概要(治山・路網) 林道施設災害復旧、監督業務におけるポイント、設計積算演習、積算システム概要	・市町村林務担当職員 ・1日目講義は事業者の現場代理人等の受講も可	○	○	令和4年5月16日～17日	2日	15名	林業研究センター
6 森林土木事業の設計・施工管理 (後期)	森林土木事業にかかる測量・設計の技術力向上を図るため、現場実習等を通じて測量機器の取り扱い、測量手法、図面の作図などの実務ができる者を育成する。	測量・作図実習 標準構造物の設計	・市町村林務担当職員 (実務担当者)	○		令和4年8月22日～23日	2日	15名	林業研究センター
7 森林経営管理制度の実務	森林経営管理制度に関する事務を円滑に進めるため、意向調査の実施、経営管理権集積計画の作成、市町村森林経営管理事業の実施、経営管理実施権を設定する民間事業者の選定、経営管理実施権配分計画の作成等を遂行する上で必要な知識を習得させ、適切かつ円滑に運用できる者を育成する。	森林経営計画制度の概要、森林環境税及び森林譲与税、森林経営管理制度に係る事務、県内市町村の取組事例	市町村林務担当職員(実務担当者)及び林業従事者等	○	○	①令和4年6月27日～28日 ②令和4年9月1日～2日	2日	各回 20名	林業研究センター
8 提案型集約化施業実践 ※森林施業プランナー協会認定 1次研修に該当(予定)	森林所有者に対する施業提案書の作成や提示、森林施業の集約化ができる、森林経営計画作成の中核を担う技術者を育成する。	提案型集約化施業の意義・進め方、目標林型と育林技術、集約化の実際、森林施業プラン作成、森林経営計画作成 等	森林施業プランナーを目指す者 及び森林施業プランナー	○	○	令和4年10月3日～6日	4日	20名	林業研究センター 実習フィールド
9 路網整備と作業システム (実践) ※緑の雇用OJT指導員資格取得研修に該当	現地に適合した路網整備と作業システムの構築に必要な知識及び技術を習得し、素材生産性の向上に向けた指導ができる者を育成する。	森林作業道作設の基礎、路網計画作成、森林作業道作設実習 等	森林作業道開設に関する指導者 を目指す者		○	令和4年12月5日～8日	5日	10名	実習フィールド
10 チェーンソー伐木造材技術	伐木造材作業に関する技術、健康障害防止や安全作業等に必要な知識等の向上を図り、地域において安全な伐木造材等を指導できる者を育成する。	振動障害の実態、災害事例・関係法令、チェーンソーの整備、伐木作業実習、有利な採材技術等	伐木等の業務に係る特別教育修了者で林業現場作業経験4年以上の者		○	令和4年6月6日～9日	4日	15名	林業研究センター 実習フィールド
11 森林・林業でのドローン活用	ドローン等技術の活用により、森林整備事業の実施に係る申請・検査の省力化、森林情報の管理体制の強化及び効率化を図るため、ドローンの操縦技術や撮影、画像解析等の技術を習得する。	森林・林業でのドローン活用事例、航空法等の関係法令、ドローンの操縦方法、ドローンの基礎操縦・飛行撮影、オルソ画像作成	市町村林務担当職員及び 林業従事者 等	○	○	①令和4年9月13日～16日 ②令和5年1月17日～20日	4日	各10名	林業研究センター 実習フィールド

研修講座（追加講座）	研修の必要性	主な内容	対象者	主な対象者		実施時期	研修日数	定員	開催場所
				市町村	林業事業者等				
12 森林調査・計画策定	最新の森林情報、調査手法、計画量の算出等に関する知識及び技術を習得させ、実効性の高い森林経営管理の計画を立案できる技術者を養成する。	ドローン・3Dレーザースキャナを活用した森林調査、ICT等による森林現況の把握・実習		○	○	令和4年6月14日～16日	3日	10名	林業研究センター 実習フィールド
13 森林保護管理	松くい虫やナラ枯れ被害等のメカニズムや被害対策等の知識及び技術を習得させ、的確で効果的な防除施策を実施できる職員を養成する。	松くい虫・ナラ枯れ被害等の森林病害虫対策、鳥獣被害対策		○	○	令和4年10月17日～18日	2日	15名	林業研究センター 実習フィールド
14 森林総合監理（前期）	森林・林業に関する広範囲な知識及び技術、コミュニケーションや合意形成方法を習得させ、新たな森林管理システムの運営体制を地域内に構築できるコーディネート力を有する技術者を養成する。	森づくりの理念と森林施業、森林・林業の構想、コミュニケーションとプレゼンテーション能力、森林経営計画と森林経営管理実施権配分計画		○	○	令和4年7月19日～21日	3日	15名	林業研究センター
15 森林総合監理（後期）	森林・林業に関する広範囲な知識及び技術、コミュニケーションや合意形成方法を習得させ、新たな森林管理システムの運営体制を地域内に構築できるコーディネート力を有する技術者を養成する。	上記研修の演習		○	○	令和5年2月1日～3日	3日	15名	林業研究センター
16 架線集材	架線の安全な架設、撤去の作業手順、集材機の運転操作及び架線設計に関する知識及び技術を習得させ、架線技術の普及指導・監督ができる者を養成する。	架線集材に関する知識、架設・撤去作業、ワイヤーロープの取扱、架線集材の設計			○	令和4年11月7日～11日 令和4年11月14日～18日 令和4年11月21日～22日 令和4年11月24日～25日	14日	10名	林業研究センター 実習フィールド

福島県

令和4年度 年間研修計画（案）

	4		5		6		7		8		9	
1	金		日		水		金		月	路網整備と作業システム（基礎）	木	森林経営管理制度の実務（2回目）
2	土		月		木		土		火		金	
3	日		火	憲法記念日	金		日		水		土	
4	月		水	みどりの日	土		月	森林整備事業の実務	木		日	
5	火		木	こどもの日	日		火		金		月	
6	水		金		月	チェーンソー伐木造材技術	水		土		火	
7	木		土		火		木		日		水	
8	金		日		水		金		月		木	
9	土		月		木		土		火		金	
10	日		火		金		日		水		土	
11	月		水		土		月		木	山の日	日	
12	火		木		日		火		金		月	
13	水		金		月		水		土		火	森林・林業でのドローン活用（1回目）
14	木		土		火	森林調査・計画策定	木		日		水	
15	金		日		水		金		月		木	
16	土		月	森林土木事業の設計・施工管理（前期）	木		土		火		金	
17	日		火		金		日		水		土	
18	月		水		土		月	海の日	木		日	
19	火		木		日		火	森林総合監理（前期）	金		月	敬老の日
20	水		金		月		水		土		火	
21	木		土		火		木		日		水	
22	金		日		水		金		月	森林土木事業の設計・施工管理（後期）	木	
23	土		月	森林計画制度	木		土		火		金	秋分の日
24	日		火		金		日		水		土	
25	月		水		土		月		木		日	
26	火	森林・林業の基礎	木		日		火		金		月	
27	水		金		月	森林経営管理制度の実務（1回目）	水		土		火	
28	木		土		火		木		日		水	
29	金	昭和の日	日		水		金		月		木	
30	土		月		木		土		火		金	
31			月				日		水			
研修日数	2		4		9		6		4		6	

上半期計

31

日

外部講師

	10		11		12		1		2		3					
1	土		火		木		土		水	森林総合監理（後期）	水		1			
2	日		水		金		日		木		木		2			
3	月	提案型集約化施業実践	木	文化の日	土		月		金		金		3			
4	火		金		日		火		土		土		4			
5	水		土		月	路網整備と作業システム（実践）	水		日		日		5			
6	木		日		火		木		月		月		6			
7	金		月	架線集材	水		金		火		火		7			
8	土		火		木		土		水		水		8			
9	日		水		金		日		木		木		9			
10	月	体育の日	木		土		月		金		金		10			
11	火		金		日		火		土		土		11			
12	水		土		月		水		日		日		12			
13	木		日		火		木		月		月		13			
14	金		月	架線集材	水		金		火		火		14			
15	土		火		木		土		水		水		15			
16	日		水		金		日		木		木		16			
17	月	森林保護管理	木		土		月	森林・林業でのドローン活用（2回目）	金		金		17			
18	火		金		日		火		土		土		18			
19	水		土		月		水		日		日		19			
20	木		日		火		木		月		月		20			
21	金		月	架線集材	水		金		火		火		21			
22	土		火		木		土		水		水		22			
23	日		水	勤労感謝の日	金		日		木		木		23			
24	月		木	架線集材	土		月		金		金		24			
25	火		金		日		火		土		土		25			
26	水		土		月		水		日		日		26			
27	木		日		火		木		月		月		27			
28	金		月		水	仕事納め	金		火		火		28			
29	土		火		木		土		\			水		29		
30	日		水		金		日					木		木		30
31	月				土		月					金		金		31
研修日数	6		14		4		4		3							

下半期計	31	日
年間計	62	日